

## 第68期司法修習生への修習実態アンケート集計結果

【実施対象】第68期司法修習生(アンケート送付数:1975通)  
 【実施時期】2015年7月15日から2015年9月4日まで  
 【実施方法】配属地の弁護士会にて配布, 回収  
 【回答数】864通(回答率49.0%)  
 【実施目的】司法修習生の修習実態を明らかにすること

## 【回答者の属性等】

## ○性別

	人数	割合
男性	626	72.5%
女性	185	21.4%
無回答	53	6.1%
合計	864	100%

## ○年齢

	人数	割合
23歳以下	11	1.3%
24～26歳	360	41.7%
27～30歳	312	36.1%
31～35歳	83	9.6%
36～40歳	60	6.9%
41～45歳	14	1.6%
46歳以上	11	1.3%
無回答	13	1.5%
合計	864	100%

## 問1 導入修習にあたって、入寮できましたか。

	人数	割合
希望し、入寮できた	499	58%
希望したが、入寮できなかった	53	6%
希望せず、入寮しなかった	304	35%
合計	856	100%

## 問2-1 入寮を希望したが入寮できなかった方へ質問です。導入修習中の住居はどうしましたか。

	人数	割合
マンション賃借	3	5%
ホテル滞在	3	5%
親族等の家	3	5%
導入修習開始前の居住地	48	84%
合計	57	100%

問2-2 問2-1で導入修習開始前の居住地から和光まで通ったと回答した方への質問です。最寄りの駅はどこですか。また、和光までの往復所要時間をお答えください。

所要時間 (分)	人数	割合
40	1	2%
45	1	2%
50	3	6%
55	1	2%
60	10	21%
70	4	8%
75	2	4%
80	3	6%
90	10	21%
100	9	19%
105	1	2%
110	1	2%
120	2	4%
合計	48	100%

最寄駅		
吉祥寺駅	船堀	桜新町
大倉山駅	綱島	成城学園前
京王井の頭線 東松原駅	麻布十番	若葉
駒沢大学	世田谷代田	下北沢
生田	学芸大学	中井駅
新小岩	戸塚	鹿島田
矢口渡	早稲田駅	門前仲町駅
町屋	高田馬場	護国寺駅
本郷三丁目	根津	西荻窪駅
谷塚駅	雑司ヶ谷	東陽町駅
蒲田駅	武蔵小山	千石駅
中央線 日野駅	西葛西	椎名町駅
埼玉県霞ヶ関	桜上水	登戸
たまプラーザ駅	稲荷町駅	

問3 導入修習のために引越やホテルへの滞在を要した(入寮できなかった)方への質問です。移転料(引越代)、賃料、ホテル滞在費の原資は何でしたか。

	人数	割合
家族等からの援助	4	0.5%
預貯金等の切り崩し	5	0.6%
借入	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	16	1.9%
合計	864	100%

問4 導入修習について御意見がございましたらお書き下さい。

※自由記載欄集計結果とりまとめを御確認ください。

問5-1 配属された分野別実務修習地をお答えください。

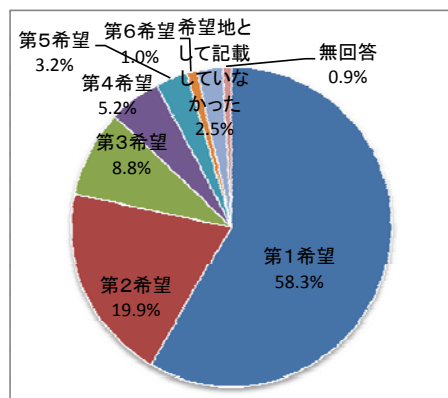
修習地	人数	修習地	人数	修習地	人数	修習地	人数
東京	76	神戸	22	鳥取	3	岩手	2
横浜	5	奈良	6	松江	4	秋田	6
さいたま	2	大津	18	福岡	61	青森県	7
千葉	5	和歌山	2	佐賀	4	札幌	51
水戸	5	名古屋	64	長崎	7	函館	4
宇都宮	11	津	11	大分	13	旭川	6
前橋	1	岐阜	4	熊本	26	釧路	3
静岡県	25	福井	4	鹿児島	11	高松	15
甲府	11	金沢	16	宮崎	16	徳島	2
長野	17	富山	6	那覇	17	松山	7
新潟	19	広島	19	仙台	43		
大阪	100	山口	6	福島	4		
京都	48	岡山	30	山形	6	無回答	13
						合計	864

問5-2 現在のクールの修習(弁護・検察・刑裁・民裁)をお答えください。

クール	人数(人)	割合
弁護	306	35%
検察	109	13%
刑裁	139	16%
民裁	139	16%
選択型修習	110	13%
集合修習	7	1%
無回答	54	6%
合計	864	100%

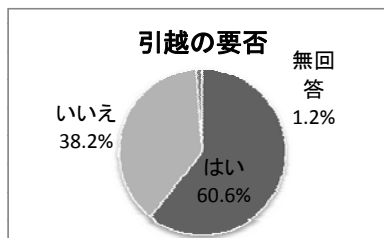
問6 配属された分野別実務修習地は、第何希望でしたか。

	人数(人)	割合
第1希望	504	58%
第2希望	172	20%
第3希望	76	9%
第4希望	45	5%
第5希望	28	3%
第6希望	9	1%
希望地として記載していなかった	22	3%
無回答	8	1%
合計	864	100%



問7 配属地で修習するため、引越が必要でしたか。

	人数(人)	割合
はい	524	60.6%
いいえ	330	38.2%
無回答	10	1.2%
合計	864	100%



問8 (問7で「引越が必要」と答えた方にお聞きます。)配属地での住居の確保の時期はいつでしたか

	人数(人)	割合
①配属地決定～導入修習開始	417	80%
②導入修習開始～分野別実務修習開始	69	13%
③分野別実務修習開始以降	29	6%
無回答	9	2%
合計	524	100%

問9 (問8で①及び②と答えた方への質問です。)導入修習中に配属地で発生していた家賃の原資は何ですか。(複数回答可)

	人数 (人)	割合
①家族等からの援助	187	36%
②預貯金等の切り崩し	105	20%
③最高裁からの貸与金	177	34%
④借入	12	2%
⑤その他	43	8%
合計	524	100%

◎「その他」の内容  
・バイト代等

問10 分野別実務修習前の居住地から実務修習地への引越にかかる移転料(引越代)の支給を受けましたか。また、「②いいえ」と回答した方は、支給を受けなかった理由をお答えください。

	人数	割合
はい	501	93.5%
いいえ	19	3.5%
無回答	16	3.0%
合計	536	100.0%

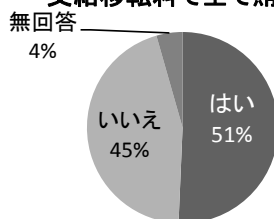
◎支給を受けなかった理由

- ・同一市町村内は移転料が出せないと言われたため。
- ・手続きが面倒であったため。
- ・距離的に支給対象外とされたため(京都市から津市内への引越)
- ・健康保険の関係で、住民表を実家から移さなかったため、引越扱いにならなかった。

問11 (問10で「移転料の支給を受けた」と答えた方にお聞きします。)支給を受けた移転料(引越代)で、引越代を全て賄うことができましたか。

	人数	割合
はい	264	50.7%
いいえ	234	44.9%
無回答	23	4.4%
合計	521	100%

支給移転料で全て賄えたか



◎不足分を補填した原資  
・親族等からの援助  
・貸与金  
・借入 など

問12 (問10で「移転料の支給を受けた」と答えた方にお聞きします。)移転料の支給について御意見がございましたらお書き下さい(自由記載)。

※自由記載集計結果とりまとめを御確認ください。

問13 修習先において、修習指導担当の弁護士、裁判官、検事(以下「指導担当」という。)から、修習にあたるべきとされていた時間(休憩時間は除いた法律事務所・裁判所・検察庁に必ずいなくてはならない時間。以下「定時の時間」という。)は1日当たり何時間ですか。

時間	人数 (人)	割合		時間(h)
5.99h以下	0	0.0%	平均値	7.9h
6~6.99h	9	1.0%	最小値	6h
7~7.99h	405	46.9%	最大値	17h
8~8.99h	403	46.6%		
9h以上	11	1.3%		
無回答	36	4.2%		
合計	864	100%		

問14 すべてのクールの修習内容について教えてください。

民事裁判修習	①判決起案	②サマリー起案	③和解案起案	④その他起案	⑤非公開手続(弁論準備手続等)への立会い
平均(本・回)	5.3	8	3.75	6.6	33

④その他の内容・・・主張・争点整理案作成, リサーチペーパー, 尋問事項起案, レポート作成

刑事裁判修習	①判決起案	②令状審査立会い	③評議立会い	④その他
平均(本・回)	8.5	5.5	4.8	11.5

④その他の内容・・・ 医療観察, 公判前整理手続打合せ, 勾留質問, 模擬裁判, 裁判員選任手続

家事裁判修習	①少年審判立会い	②家事調停立会い	③その他
平均(本・回)	4	4.5	4

③その他の内容・・・ 遺言書の検認, 調査官・裁判官の講義, 家事審判・人事訴訟 など

検察修習	①被疑者取調べ	②起訴・不起訴処分をするための決裁文書起案	③司法解剖への立会い
平均(本・回)	6.9	5	1.5

弁護修習(民事)	①訴状・答弁書作成	②準備書面作成	③和解案作成	④尋問事項起案作成	⑤その他	⑥法律相談立会い
平均(本・回)	5.5	6	2.5	4	8	20

⑤その他の内容・・・ 意見書・契約書・上申書起案, 遺産分割協議書, 仮処分申立書, 控訴趣意書起案,

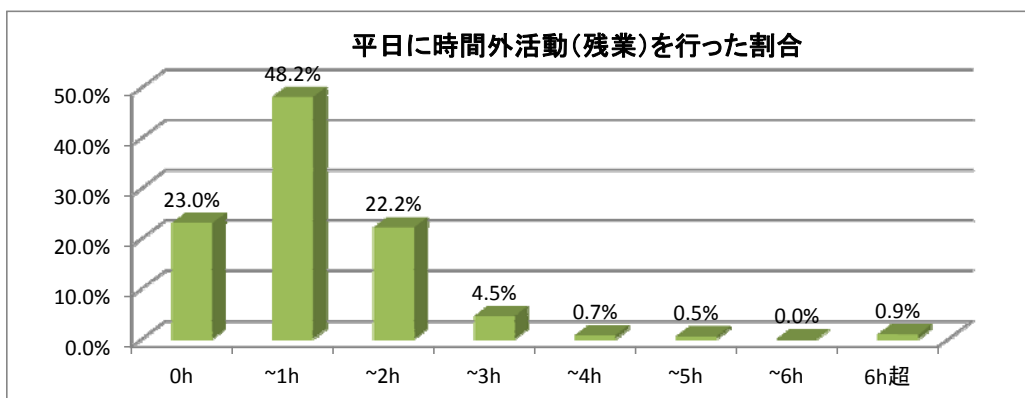
弁護修習(刑事)	①最終弁論起案	②意見書起案	③尋問事項起案	④その他	⑤接見立会い
平均(本・回)	3.7	2.5	2	4.3	3.97

④その他の内容・・・ 示談書, 保釈請求書, 準抗告申立, 控訴趣意書, 付添人意見書, 証拠調べ

問15 「残業時間」は1週間に何日ありましたか。また、平均的な「残業時間」は1日あたり何時間ですか。※修習に従事すべき日(月曜日～金曜日)

①平日(残業)

	日数	人数(人)	割合	時間	人数(人)	割合
行っていない	0日	182	22.3%	0h	188	23.0%
行った	～1日	161	19.7%	～1h	393	48.2%
	～2日	152	18.6%	～2h	181	22.2%
	～3日	127	15.6%	～3h	37	4.5%
	～4日	58	7.1%	～4h	6	0.7%
	～5日	136	16.7%	～5h	4	0.5%
				～6h	0	0.0%
			6h超	7	0.9%	
	平均値	2.15日		平均値	1.17h	
	最小値	0日		最小値	0h	
	最大値	5日		最大値	9h	
合計		816	100%		816	100%



②休日(残業)

	日数	人数(人)	割合	時間	人数(人)	割合
行っていない	0日	733	95.8%	0h	721	95.4%
行った	～1日	27	3.5%	～1h	3	0.4%
	～2日	5	0.7%	～2h	8	1.1%
				～3h	4	0.5%
				～4h	5	0.7%
				～5h	2	0.3%
				～6h	0	0.0%
			6h超	13	1.7%	
	平均値	0.04日		平均値	0.2h	
	最小値	0日		最小値	0h	
	最大値	2日		最大値	9h	
合計		765	100%		756	100%

問16 あなたは、分野別実務修習において、「定時の時間」以外の時間に、実務修習のための活動としてどのような活動を行いましたか(以下、上記の活動時間を「残業時間」という)。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)

	①文書等の起案・作成		②指導担当から課された課題に答えるために行う文献等の調査や事件記録の検討		③法律事務所内や出張先における法律相談への立ち会い	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
行った	563	65.2%	335	38.8%	307	35.5%
行わなかった	161	18.6%	418	48.4%	446	51.6%
無回答	140	16.2%	111	12.8%	111	12.8%
合計	864	100%	864	100%	864	100%

	④弁護修習中の修習指導担当が出席する弁護士会の委員会等への同行		⑤その他	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
行った	276	31.9%	70	8.1%
行わなかった	476	55.1%	682	78.9%
無回答	112	13.0%	112	13.0%
合計	864	100%	864	100%

◎その他の内容  
取調、接見、法廷傍聴  
証拠の捜査 など

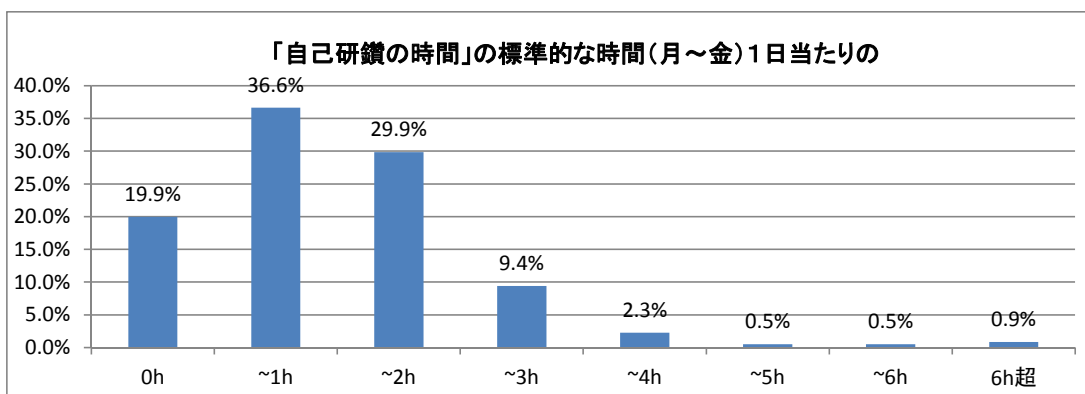
「①文書等起案の作成」の内訳

	指導担当から課された判決案(裁判所)起案(作成)		起訴・不起訴の処分についての決裁文書(検察)起案(作成)		訴状・準備書面・和解案等(弁護)起案(作成)	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
行った	359	41.6%	220	25.5%	291	33.7%
行わなかった	366	42.4%	505	58.4%	434	50.2%
無回答	139	16.1%	139	16.1%	139	16.1%
合計	864	100%	864	100%	864	100%

問17 「自己研鑽の時間」は1週間に何日ありましたか。また、平均的な「自己研鑽の時間」は1日あたり何時間ですか。

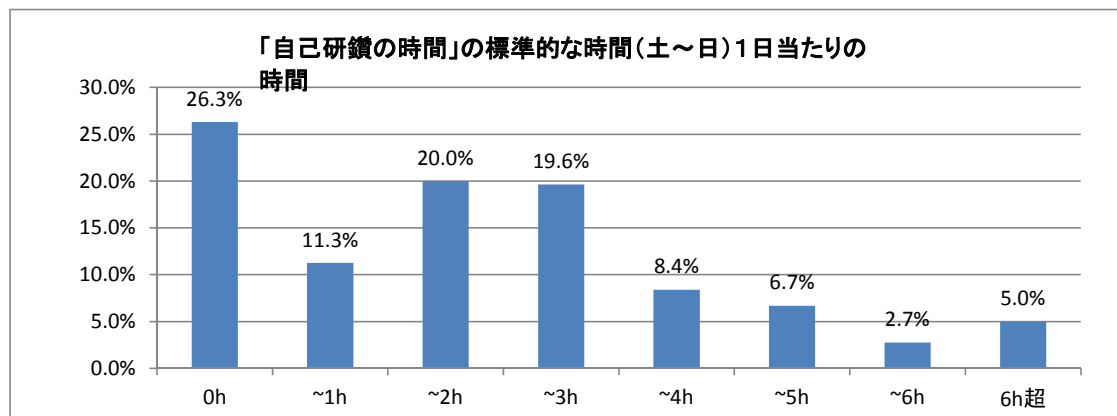
①平日（自己研鑽）

	日数	人数(人)	割合	時間	人数(人)	割合
行っていない	0日	161	20.1%	0h	159	19.9%
行った	～1日	165	20.6%	～1h	292	36.6%
	～2日	162	20.3%	～2h	238	29.9%
	～3日	150	18.8%	～3h	75	9.4%
	～4日	32	4.0%	～4h	18	2.3%
	～5日	130	16.3%	～5h	4	0.5%
				～6h	4	0.5%
			6h超	7	0.9%	
	平均値		2.14日	平均値		1.46時間
	最小値		0日	最小値		0時間
	最大値		5日	最大値		15時間
合計		800	100%		797	100%



②休日（自己研鑽）

	日数	人数(人)	割合	時間	人数(人)	割合
行っていない	0日	205	26.6%	0h	201	26.3%
行った	～1日	383	49.7%	～1h	86	11.3%
	～2日	182	23.6%	～2h	153	20.0%
				～3h	150	19.6%
				～4h	64	8.4%
				～5h	51	6.7%
				～6h	21	2.7%
			6h超	38	5.0%	
	平均値		0.97日	平均値		2.33h
	最小値		0日	最小値		0h
	最大値		2日	最大値		15h
合計		770	100%		764	100%





問18 「定時の時間」以外の時間に、自己研鑽のための自主的な活動としてどのような活動を行いましたか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)

	①修習生同士で行う事実認定・要件事実等に関する勉強会への参加		②裁判官・検察官・弁護士等が主催して開かれる勉強会への参加		③弁護士会等が主催するシンポジウムや研修会等への参加	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
行った	177	23.9%	242	32.7%	235	31.7%
行わなかった	565	76.1%	499	67.3%	506	68.3%
合計	742	100%	741	100%	741	100%

	④基本書や演習書を用いた法律の基本知識や法曹実務に関する自習		⑤税や会計など法曹実務に役立つ知識を習得するための学習		⑥英会話や語学など法律以外でも役立つ知識を習得するための学習	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
行った	552	74.5%	229	30.9%	255	34.4%
行わなかった	189	25.5%	512	69.1%	486	65.6%
合計	741	100%	741	100%	741	100%

	⑦ その他	
	人数(人)	割合
行った	38	5.1%
行わなかった	704	94.9%
合計	742	100%

◎その他の内容  
 検察庁の勉強会への参加  
 弁護士会の委員会、会務活動への参加  
 読書  
 修習先で出された課題、起案  
 法科大学院主催の勉強会、セミナー等への参加、体力作り

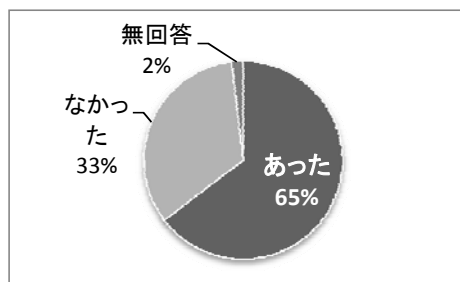
問19 これまでの司法修習において学んだことの中で、今後、ご自身が法曹になった後に役立つと思ったことはどのようなことでしたか。(自由記載欄)

※集計結果は自由記載欄集計結果とりまとめを御確認ください。

問20 司法試験や法曹を目指すに当たって、経済的な状況に不安を感じ、進路選択を迷ったことがありますか。また、不安を感じた時期はいつ頃ですか。（複数回答可）

①経済的理由から進路選択を迷ったことがあるか

	人数（人）	割合
あった	558	64.6%
なかった	290	34.0%
無回答	16	1.9%
合計	864	100%



② ①で「あった」と答えた方にお聞きします。進路選択に不安を感じた時期はいつですか。

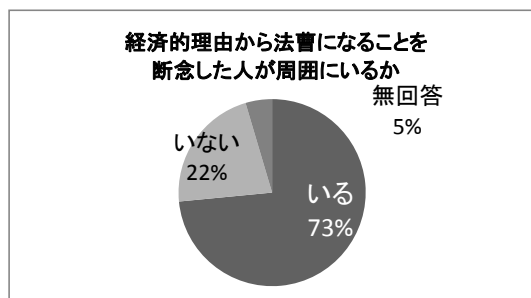
	①大学の進路選択時		②大学卒業後の進路選択時		③法科大学院卒業後の進路選択時	
	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合
当てはまる	95	11.0%	313	36.2%	295	34.1%
当てはまらない	468	54.2%	249	28.8%	267	30.9%
無回答／非該当	301	34.8%	302	35.0%	302	35.0%
合計	864	100%	864	100%	864	100%

	④社会人として既に働いていたが、法曹を目指すことを考えた時		⑤その他	
	人数（人）	割合	人数（人）	割合
当てはまる	87	10.1%	40	4.6%
当てはまらない	475	55.0%	522	60.4%
無回答	302	35.0%	302	35.0%
合計	864	100%	864	100%

◎その他の内容  
 ・司法試験合格発表直後  
 ・親族が亡くなった時  
 ・法科大学院在学時

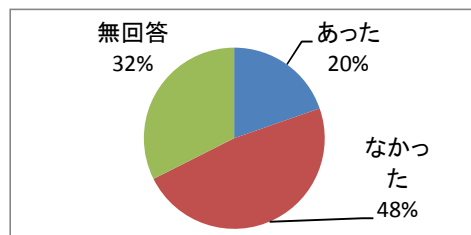
問21（問20で「不安を感じたことがあった」と回答した方にお聞きします。）経済的な理由から法曹になることを断念した人が周囲（友人、家族、先輩、後輩など）にいますか

	人数（人）	割合
いる	448	73.4%
いない	134	22.0%
無回答	28	4.6%
合計	610	100%



問22 (問20で「不安を感じたことがあった」と答えた方に聞きます。)司法試験合格後、司法修習生となることを辞退しようと思ったことがありましたか。

	人数(人)	割合
あった	170	19.7%
なかった	414	47.9%
無回答	280	32.4%
合計	864	100%



問23 (問22で「辞退しようと思ったことがあった」と答えた人で)司法修習生となることを辞退しようと思った理由は何でしたか。(複数回答可)

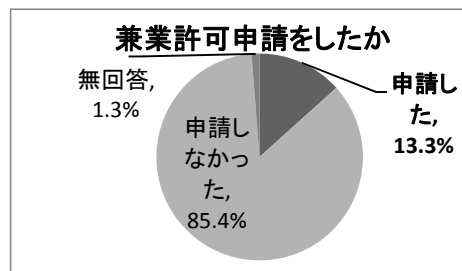
	①健康上の問題		②親族との関係(例:介護を要する親族がいるなど)		③貸与制に移行したことによる経済的な不安	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
当てはまる	3	1.7%	5	2.9%	123	71.1%
当てはまらない	170	98.3%	168	97.1%	50	28.9%
合計	173	100%	173	100%	173	100%

	④司法修習終了後の就職状況や弁護士の経済的困難に対する不安		⑤別の進路を考えたため		⑥その他	
	人数(人)	割合		割合	人数(人)	割合
当てはまる	119	68.8%	70	40.5%	16	9.2%
当てはまらない	54	31.2%	103	59.5%	157	90.8%
合計	173	100%	173	100%	173	100%

その他: 弁護士等になるにしても先に一般企業に就職してお金をためようと思った/  
修習地が地方になり、就職活動にお金がかかるため/貸与制になったことで親族から反対された  
専念義務との関係で勤務先を退職せざるを得なくなったこと など。

問24-1 兼業許可申請をしましたか。

	人数（人）	割合
申請した	115	13.3%
申請しなかった	738	85.4%
無回答	11	1.3%
合計	864	100%



問24-2 申請をした理由・しなかった理由をお答えください。（複数回答可）

◎兼業許可申請した理由

	人数（人）	割合
貸与金を申請しなかったため	21	12.7%
貸与金では不足するため	46	27.7%
将来の貸与金の返済に備えるため	37	22.3%
就職活動にかかる費用をまかなうため	22	13.3%
その他	40	24.1%
合計	166	100%

その他  
 ・法科大学院、予備校から頼まれたため。  
 ・親への仕送り、借金返済のため

◎兼業許可申請しなかった理由

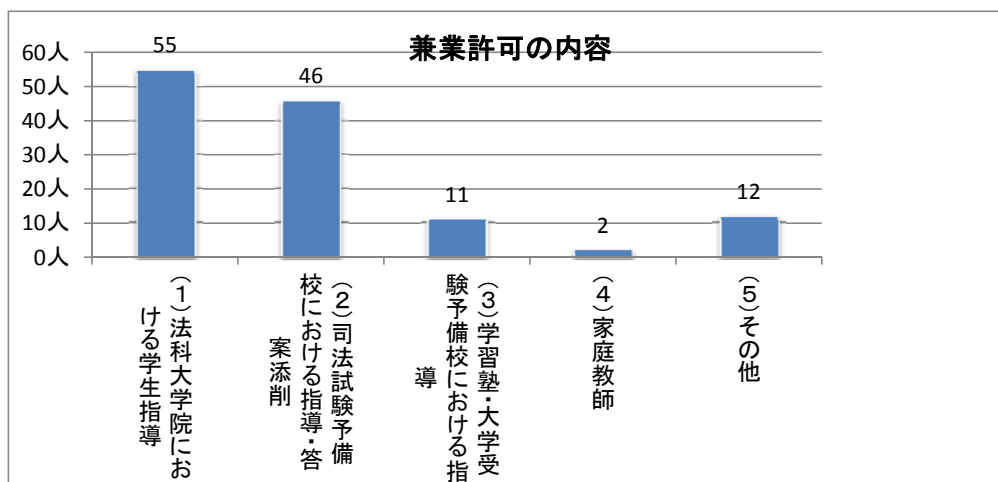
	人数（人）	割合
A 実務修習地管轄内に、兼業先が見つからなかった	89	9.9%
B 修習に取り組むにあたり、就労をする余裕がない	320	35.5%
C 就職活動に時間がかかるため、就労をする余裕がない	142	15.7%
D 家庭からの仕送りないし家族からの援助がある	120	13.3%
E 貸与金や貯金等により、兼業しなくても困らない	164	18.2%
F その他	67	7.4%
合計	902	100%

その他  
 ・兼業許可に時間がかかるから  
 ・兼業許可の範囲が狭く、やりたいことができないから  
 ・兼業してもそれほどの時間がとれず、収入も微々たるものだから。

問25 (問24で「兼業許可申請をした」と回答した方にお聞きします)どのような兼業の許可を求めましたか。

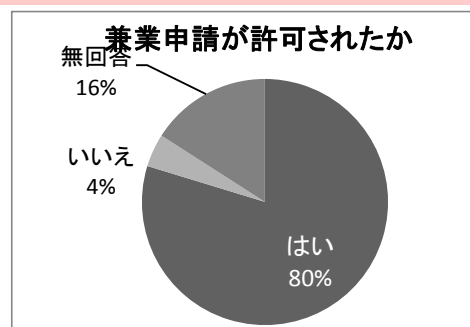
兼業許可申請を求めた内容	人数(人)	割合
(1)法科大学院における学生指導	55	43.7%
(2)司法試験予備校における指導・答案添削	46	36.5%
(3)学習塾・大学受験予備校における指導	11	8.7%
(4)家庭教師	2	1.6%
(5)その他	12	9.5%
合計	126	100.0%

その他・・・株式会社の監査役, 法律事務所での雑務 ほか



問26 兼業申請は許可されましたか。

	人数(人)	割合
はい	110	79.7%
いいえ	6	4.3%
無回答	22	15.9%
合計	138	100%



問27（問26で「兼業申請が許可された」と答えた方にお聞きします。）兼業の就労日は標準的な1週間のうち何日間ですか。また、1日あたりの労働時間は何時間ですか。※修習に従事すべき日（月～金曜日）と、それ以外（土日・祝日・自由研究日）に分けてお答え下さい。

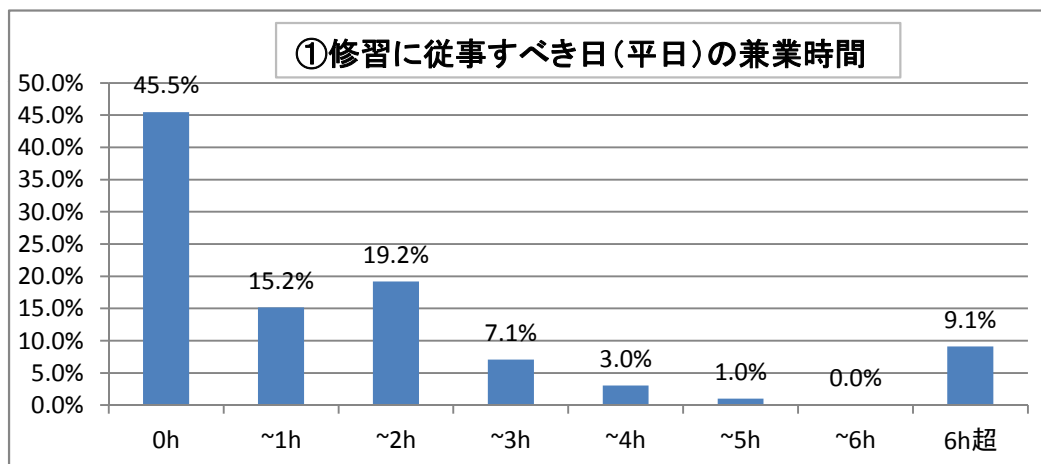
◎修習に従事すべき日（月曜日～金曜日）

①就労日数（月曜日～金曜日）

	日数	人数(人)	割合		日
行っていない	0	44	49.4%	平均値	1.05日
行った	1	18	20.2%	最小値	0日
	2	15	16.9%	最大値	5日
	3	7	7.9%		
	4	0	0.0%		
	5	5	5.6%		
合計		89	100%		

②就労時間（月曜日～金曜日）

	時間	人数(人)	割合		時間(h)
行っていない	0h	45	45.5%	平均値	1.64h
行った	~1h	15	15.2%	最小値	0h
	~2h	19	19.2%	最大値	9h
	~3h	7	7.1%		
	~4h	3	3.0%		
	~5h	1	1.0%		
	~6h	0	0.0%		
	6h超	9	9.1%		
	合計		99	100%	



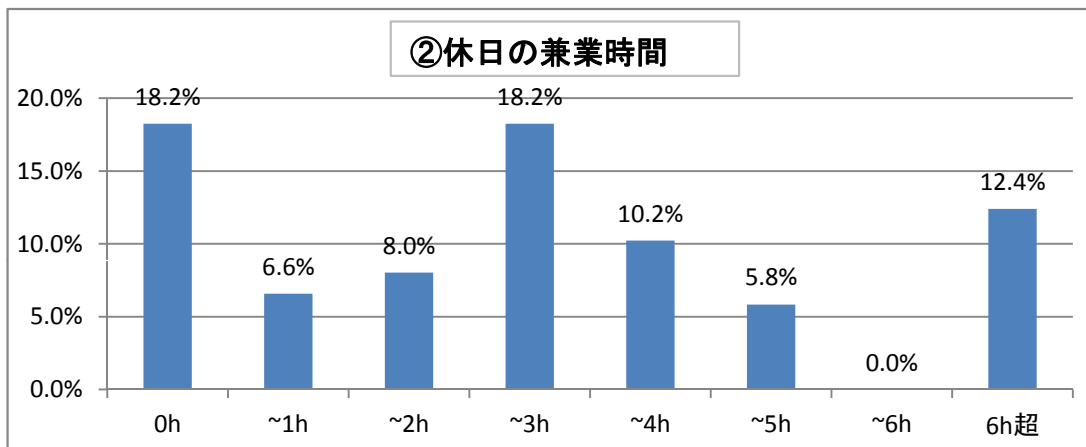
◎それ以外の日(土日・祝日・自由研究日)

①就労日数(土日・祝日・自由研究日)

	日数	人数(人)	割合		日
行っていない	0	26	20.2%	平均値	0.93日
行った	1	53	41.1%	最小値	0日
	2	20	15.5%	最大値	2日
無回答		30	23.3%		
合計		129	100%		

②就労時間(土日・祝日・自由研究日)

	時間	人数(人)	割合		時間(h)
行っていない	0h	25	18.2%	平均値	3.10h
行った	~1h	9	6.6%	最小値	0h
	~2h	11	8.0%	最大値	10h
	~3h	25	18.2%		
	~4h	14	10.2%		
	~5h	8	5.8%		
	~6h	0	0.0%		
	6h超	17	12.4%		
無回答		28	20.4%		
合計		137	100%		

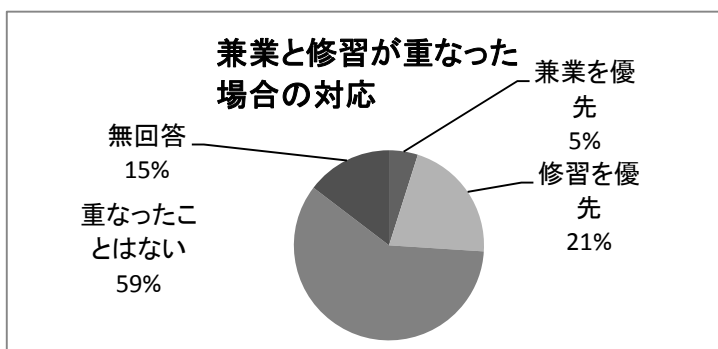


問28 (問26で「兼業申請が許可された」と答えた方にお聞きします。)修習に従事すべき日(月曜日～金曜日)の就労開始時間は何時ですか。(平均的な時間を30分単位でお答え下さい)

開始時刻	人数 (人)	割合
17時00分	1	2.6%
17時30分	0	0.0%
18時00分	2	5.1%
18時30分	4	10.3%
19時00分	7	17.9%
19時30分	0	0.0%
20時00分	2	5.1%
20時30分	2	5.1%
21時00分	9	23.1%
21時30分以降	13	33.3%
合計	39	100%

問29 (問26で「兼業申請が許可された」と答えた方にお聞きします。)兼業と修習が重なった場合は、どちらを優先させましたか。

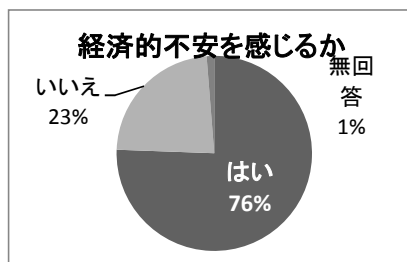
対応	人数 (人)	割合
兼業を優先	6	4.9%
修習を優先	26	21.1%
重なったことはない	73	59.3%
無回答	18	14.6%
合計	123	100%





問30 修習を行う上で経済状況に不安を感じますか。不安を感じる場合、具体的にどのような経済的不安を感じますか。

	人数 (人)	割合
はい	653	75.6%
いいえ	200	23.1%
無回答	11	1.3%
合計	864	100.0%



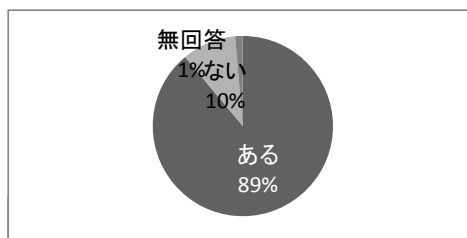
○不安を感じる点

- ・イレギュラーな出費があって貸与金の蓄えが少なくなった時
- ・奨学金とともに貸与金が返済できるのか
- ・日々、借金が膨らんでいること
- ・返済を気にして教材や本が買えない。
- ・収入がないこと
- ・就職先が決まらないのに、借金は増えていること

問31 修習費用の貸与制により、修習を行う上で影響があると感じたことがありますか。影響がある場合、具体的にどのような影響を感じますか。(複数回答可)

①貸与制による修習への影響があるか。

	人数 (人)	割合
ある	768	88.9%
ない	84	9.7%
無回答	12	1.4%
合計	864	100.0%



②影響がある場合、どのような影響か(複数回答可)

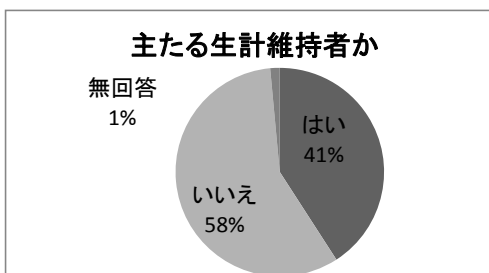
	人数 (人)	割合
生活費を節約する	602	78.4%
書籍代等を節約する	599	78.0%
交通費のかかる勉強会等への参加を控える	347	45.2%
遠方での就職活動に支障が生じる	516	67.2%
その他	170	22.1%
合計	768	

○「その他」の内容

- ・モチベーションが下がる
- ・教官との懇親会に行くのをためらう
- ・書籍、修習に必要な教材を買うのをためらう
- ・就職先をやりがいや仕事内容よりも給与面ばかり気にしてしまう。
- ・借金の返済、お金のことを気にしながら修習をすることになり集中できない など

問32 あなたの世帯では、あなたが主たる生計維持者ですか。(※ここで言う「主たる生計維持者」とは、あなたが受けた貸与金やあなたの貯蓄などを原資とする金銭によって、世帯の支出の半分以上を賄っている方とします。)

	人数 (人)	割合
はい	353	40.9%
いいえ	498	57.6%
無回答	13	1.5%
合計	864	100.0%



問33 あなたが扶養すべき家族はいますか。

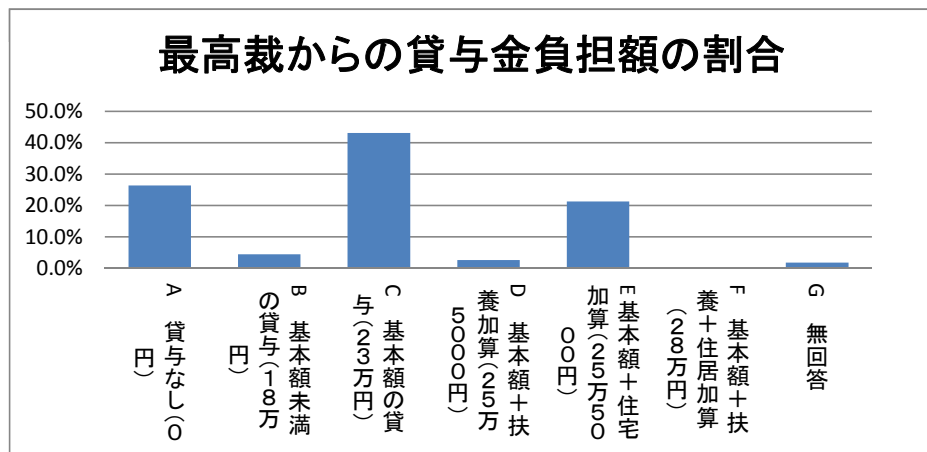
	人数 (人)	割合
はい	55	6.4%
いいえ	798	92.4%
無回答	11	1.3%
合計	864	100.0%

問34 あなたは最高裁からの貸与を受けていますか。受けている方はその金額をお答え下さい。

	(人)	割合
貸与を受けている	621	71.9%
貸与を受けていない	230	26.6%
無回答	13	1.5%
合計	864	100.0%

※最高裁からの貸与金（参考）

	人数(人)	割合
A 貸与なし(0円)	228	26.4%
B 基本額未満の貸与(18万円)	39	4.5%
C 基本額の貸与(23万円)	372	43.1%
D 基本額+扶養加算(25万5000円)	23	2.7%
E 基本額+住宅加算(25万5000円)	184	21.3%
F 基本額+扶養+住居加算(28万円)	2	0.2%
G 無回答	16	1.9%
合計	864	100.0%



問34-2 (問34で「貸与を受けていない」と回答した方にお聞きします。)貸与を受けていない理由は何ですか。(複数回答可)

	人数(人)	割合
A 返済に不安があるため	116	32.1%
B 親族等からの援助があり、貸与を受ける必要がないため。	147	40.7%
C 貯蓄などで賄えるため	52	14.4%
D 連帯保証人となる人がいないため	14	3.9%
E その他	32	8.9%
合計	361	100.0%

○「その他」の主な回答  
 ・お金を借りることが嫌。  
 ・扶養からはずれる、健康保険や共済もないため。  
 ・貸与制度自体に疑問があるため

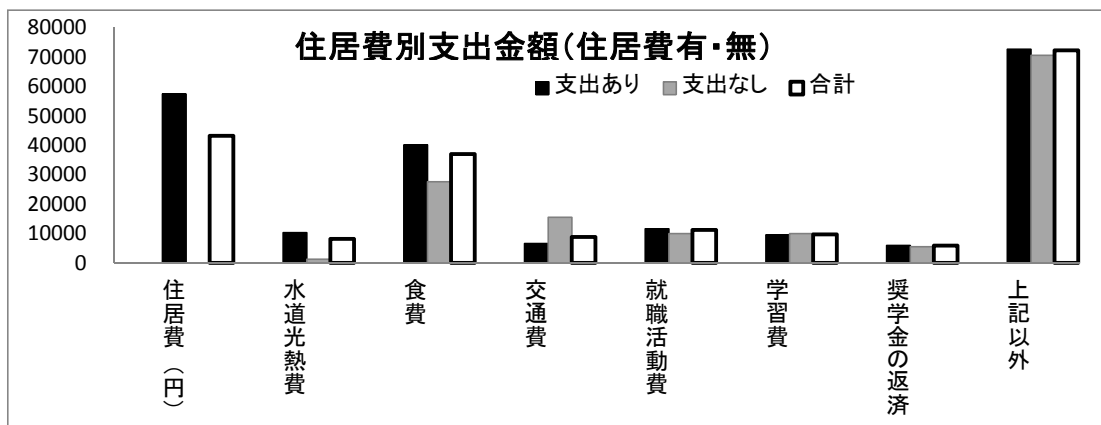
問35 現在の配属先における実務修習期間中の標準的な1か月間のあなた自身の支出の状況について、下記の表に記入して下さい。

住居費支出の有無	住居費	水道光熱費	食費	交通費	就職活動費	学習費	奨学金の返済	情報通信費
支 出 し て い な い	回答数(人)	196	195	194	194	189	194	193
	平均値(円)	¥0	¥1,292	¥27,618	¥15,553	¥9,941	¥10,007	¥5,533
支 出 し て い る	回答数(人)	594	584	582	572	563	574	564
	平均値(円)	¥57,411	¥10,329	¥40,100	¥6,552	¥11,629	¥9,534	¥5,985
合 計	回答数(人)	790	780	778	770	754	772	759
	平均値(円)	¥43,167	¥8,185	¥36,949	¥8,844	¥11,188	¥9,688	¥5,881
住居費支出の有無	年金・各種保険料	諸雑費(医療費・日用品費・衣服費など)	交際費	その他①(住宅ローン・住民税など)	その他②	その他③	全項目合計	
支 出 し て い な い	回答数(人)	192	192	194	121	106	103	195
	平均値(円)	¥10,395	¥15,942	¥26,876	¥7,351	¥1,943	¥1,002	¥134,625
支 出 し て い る	回答数(人)	567	570	575	352	310	304	590
	平均値(円)	13,076	15,138	27,219	5,632	1,265	100	207,121
合 計	回答数(人)	762	766	774	475	418	409	829
	平均値(円)	¥12,376	¥15,359	¥27,177	¥6,088	¥1,551	¥326	¥180,528

その他:住民税, 司法修習貸与金保証料, 帰省のための交通費, 養育費・教育費, 実家への仕送り, 二回試験後の引越費用・家具家電等購入のための貯蓄等, 生命保険, 自動車ローン など

◎住居費別の平均金額

住居費支出	支出あり	支出なし	合計
回答数(人)	594	196	790
住居費(円)	¥57,411	¥0	¥43,167
水道光熱費	¥10,329	¥1,292	¥8,185
食費	¥40,100	¥27,618	¥36,949
交通費	¥6,552	¥15,553	¥8,844
就職活動費	¥11,629	¥9,941	¥11,188
学習費	¥9,534	¥10,007	¥9,688
奨学金の返済	¥5,985	¥5,533	¥5,881
上記以外	¥72,547	¥70,520	¥72,214
合計	¥207,121	¥134,625	¥180,528



問36その他, 司法修習や給費制・貸与制等に関する御意見がございましたらお書きください。(自由記載)

※自由記載欄集計結果取りまとめを御覧下さい。

※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

第68期司法修習生への修習実態アンケート調査

■調査対象：第68期司法修習生

■回答期限：8月28日（金）まで

■お問い合わせ先：日本弁護士連合会法制部法制第一課 兵藤・香中 TEL：03-3580-9939

●以下の点についてお答えください。当てはまるものにチェック「✓」をお願いいたします。

○性別：[ ]

○年齢：□①23歳以下 □②24～26歳 □③27～30歳 □④31～35歳  
□⑤36～40歳 □⑥41～45歳 □⑦46歳以上

第1 導入修習について

1 導入修習についてお聞きします。

問1 導入修習時に、入寮できましたか。

□①入寮を希望し、入寮できた（→問4へ） □②入寮を希望したが、入寮できなかった（→問2へ）  
□③入寮を希望しなかったため、入寮しなかった（→問4へ）

問2 入寮を希望したが入寮できなかった方へ質問です。導入修習中の住居はどうしましたか。

□①ウィークリーマンション等に引越し賃借した □②ホテル等に滞在した  
□③親族等の家に引越し通所した  
□④導入修習開始前の居住地（実家等も含む）からそのまま通所した  
（居住地の最寄り駅： 駅 / 通所時間片道： 分）（→問4へ）

問3 導入修習のために引越やホテルへの滞在を要した（入寮できなかった）方への質問です。移転料（引越代）、賃料、ホテル滞在費の原資は何でしたか。

□①家族等からの援助 □②預貯金等の切り崩し □③借入 □④その他（ ）

問4 導入修習についてご意見がございましたら、お書きください。（自由記載）

第2 司法修習の実態について

2 配属地についてお聞きします。

問5 配属された実務修習地と現在のクールの修習（弁護・検察・刑裁・民裁）をお答えください。

①配属地 [ ]  
②現在のクールの修習 □A：弁護 □B：検察 □C：刑裁 □D：民裁 □E：その他

問6 配属された実務修習地は、第何希望でしたか。

□①第[ ]希望 □②希望地として記載していなかった

問7 配属地（分野別実務修習地）で修習するため、引越が必要でしたか。

□①はい □②いいえ（→設問3（問13）へ）

問8 配属地での住居の確保の時期はいつでしたか

□①配属地決定～導入修習開始までの間 □②導入修習開始～分野別実務修習開始までの間  
□③分野別実務修習開始以降（→問10へ）

※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

問9 問8で①及び②と答えた方への質問です。導入修習中に配属地で発生していた家賃の原資は何ですか。

- ①家族等からの援助 ②預貯金等の切り崩し ③最高裁からの貸与金 ④借入  
⑤その他（ ）

問10 分野別実務修習前の居住地から実務修習地への引越にかかる移転料(引越代)の支給を受けましたか。  
 また、「②いいえ」と回答した方は、支給を受けなかった理由をお答えください。

- ①はい  
②いいえ(理由: ) (→設問3(問13)へ)

問11 支給を受けた移転料(引越代)で、引越代を全て賄うことができましたか。また、「②いいえ」と回答した方は、不足分を補填した原資をお答えください。

- ①はい  
②いいえ(補填原資: )

問12 移転料の支給について御意見がありましたら、お書きください。(自由記載)

--

3 修習の時間及び内容についてお聞きします。

※問13～問19は、特に断りのない限り、現在のクールの修習についてお答えください。

また、問13～問19の設問で出てくる言葉の定義は以下のとおりです。

「定時の時間」 …修習指導担当の弁護士、裁判官、検事から、修習にあたるべきとされている時間  
 (休憩時間を除いた法律事務所・裁判所・検察庁に必ずいなくてはならない時間。)

「残業時間」 …「定時の時間」以外で、在庁、在所中に実務修習に必要な活動を行った時間

「自己研鑽の時間」 …「定時の時間」以外で、在庁、在所以外で自己研鑽のための活動を行った時間

問13 「定時の時間」は何時から何時までですか。

修習に従事すべき日(月曜日から金曜日): 時 分～ 時 分

問14 全てクールの修習内容についてお答えください。

民事裁判修習	起案は何本しましたか。 判決案( )本 サマリー起案( )本 和解案( )本 その他(具体的内容 ) ( )本
	非公開の手續(弁論準備手續等)への立会いは何回ありましたか。( )回
刑事裁判修習	判決案(サマリー起案を含む)の起案は何本しましたか。( )本
	非公開の手續(令状審査、裁判員裁判の評議等)への立会いは何回ありましたか。 令状審査( )回 評議( )回 その他(具体的内容 ) ( )回
家事裁判修習	非公開の手續(少年審判、家事調停等)への立会いは何回ありましたか。 少年審判( )回 家事調停( )回 その他(具体的内容 ) ( )回
検察修習	被疑者の取調べは何件行いましたか。( )件
	起訴・不起訴の処分をするための決裁文書は何件分起案しましたか。( )本
	司法解剖への立会いはありましたか。 <input type="checkbox"/> あり( )回 <input type="checkbox"/> なし

※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

弁護修習（民事）	主張書面等の作成は何本しましたか。 訴状・答弁書（ ）本 準備書面（ ）本 和解案（ ）本 尋問事項案（ ）本 その他（具体的内容（ ））（ ）本
	法律相談に何件立ち会いましたか。（ ）件
弁護修習（刑事）	起案は何本しましたか。 最終弁論（ ）本 意見書（ ）本 尋問事項案（ ）本 その他（具体的内容（ ））（ ）本
	接見は何度行きましたか。（ ）回

問15 「残業時間」は1週間に何日ありましたか。また、平均的な「残業時間」は1日あたり何時間ですか。  
※修習に従事すべき日（月曜日～金曜日）と、それ以外（土日・祝日・自由研究日）に分けてお答えください。

- ① 修習に従事すべき日（月曜日から金曜日） [ ]日/5日 [ ]時間/日  
② それ以外の日（土日・祝日・自由研究日） [ ]日/2日 [ ]時間/日

問16 「残業時間」にどのような活動を行いましたか（複数回答可）。

- ①文書等の起案・作成  
A：指導担当から課された判決案（裁判所）の起案（作成）  
B：起訴・不起訴の処分についての決裁文書（検察）起案（作成）  
C：訴状・準備書面・和解案等（弁護）の起案（作成）  
②指導担当から課された課題に答えるために行う文献等の調査や事件記録の検討  
③法律事務所内や出張先における法律相談への立ち会い  
④弁護修習中の修習指導担当が出席する弁護士会の委員会等への同行  
⑤その他（具体的に )

問17 「自己研鑽の時間」は1週間に何日ありましたか。また、平均的な「自己研鑽の時間」は1日あたり何時間ですか。

※修習に従事すべき日（月曜日～金曜日）と、それ以外（土日・祝日・自由研究日）に分けてお答えください。

- ① 修習に従事すべき日（月曜日から金曜日） [ ]日/5日 [ ]時間/日  
② それ以外の日（土日・祝日・自由研究日） [ ]日/2日 [ ]時間/日

問18 「自己研鑽の時間」にどのような活動を行いましたか（複数回答可）。

- ①修習生同士で行う事実認定・要件事実等に関する勉強会への参加  
②裁判官・検察官・弁護士等が主催して開かれる勉強会への参加  
③弁護士会等が主催するシンポジウムや研修会等への参加  
④基本書や演習書を用いた法律の基本知識や法曹実務に関する自習  
⑤税や会計など法曹実務に役立つ知識を習得するための学習  
⑥英会話・語学など法律以外でも役に立つ知識を習得するための学習  
⑦その他（具体的に )

問19 これまでの司法修習において学んだことの中で、今後、ご自身が法曹になった後に役立つと思ったことはどのようなことでしたか。（自由記載）

※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

### 第3 修習開始前の状況について

問20 司法試験や法曹を目指すに当たって、経済的な状況に不安を感じ、進路選択を迷ったことがありますか。また、不安を感じた時期はいつ頃ですか。（複数回答可）

- ①あった。
- ①大学の進路選択時
  - ②大学卒業後の進路選択時
  - ③法科大学院卒業後の進路選択時
  - ④社会人として既に働いていたが、法曹を目指すことを考えた時
  - ⑤その他（ ）
- ②なかった。（→設問第4（問24）へ）

問21 経済的な理由から法曹になることを断念した人が周囲（友人、家族、先輩、後輩など）にいますか。

- ①いる
- ②いない

問22 司法試験合格後、司法修習生となることを辞退しようと考えたことがありましたか。

- ①あった
- ②なかった（→設問第4（問24）へ）

問23 司法修習生となることを辞退しようと考えた理由はなぜでしたか（複数回答可）。

- ①健康上の問題
- ②親族との関係（例：介護を要する親族がいるなど）
- ③貸与制に移行したことによる経済的な不安
- ④司法修習終了後の就職状況や弁護士の経済的困難に対する不安
- ⑤別の進路を考えた
- ⑥その他（具体的に ）

### 第4 兼業許可について

問24 兼業許可申請をしましたか。また、申請した理由、または申請しなかった理由をお答えください（複数回答可）。

- ①はい
- 理由：
- A：貸与金を申請しなかったため
  - B：貸与金では不足するため
  - C：将来の貸与金の返済に備えるため
  - D：就職活動にかかる費用をまかなうため
  - E：その他（具体的に ）
- ②いいえ（→設問第5（問30）へ）
- 理由：
- A：実務修習地管轄内に兼業先が見つからなかった
  - B：修習に取り組むにあたり、就労をする余裕がない
  - C：就職活動に時間がかかるため、就労をする余裕がない
  - D：家庭からの仕送りないし援助がある
  - E：貸与金や貯金等により、兼業しなくても困らない
  - F：その他（具体的に ）

※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

問25 どのような兼業の許可を求めましたか。

- ①法科大学院における学生指導
- ②司法試験予備校における指導・答案添削
- ③学習塾・大学受験予備校における指導
- ④家庭教師
- ⑤その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

問26 兼業申請は許可されましたか。

- ①はい
- ②いいえ（→設問第5（問30）へ）

問27 兼業の就労日は標準的な1週間のうち何日間ですか。また、1日あたりの労働時間は何時間ですか。  
※修習に従事すべき日（月曜日～金曜日）と、それ以外（土日・祝日・自由研究日）に分けてお答えください。

- ① 修習に従事すべき日（月曜日から金曜日） [     ] 日/5日 [     ] 時間/日
- ② それ以外の日（土日・祝日・自由研究日） [     ] 日/2日 [     ] 時間/日

問28 修習に従事すべき日（月曜日～金曜日）の兼業の就労開始時間は何時ですか。（平均的な開始時間を30分単位でお答えください。）

[                    時                    分]

問29 兼業と修習（例えば17時以降の打合せ、接見、土日の令状事務等）が重なった場合はどちらを優先させましたか。

- ①兼業を優先させた
- ②修習を優先させた
- ③重なったことはない

## 第5 経済状況について

問30 修習を行う上で経済状況に不安を感じますか。不安を感じる場合、具体的にどのような経済的不安を感じますか。

- ①不安はない。
- ②不安がある。  
不安を感じる点（ \_\_\_\_\_ )

問31 修習費用の貸与制により、修習を行う上で影響があると感じたことがありますか。影響がある場合、具体的にどのような影響を感じますか。

- ①影響はない
- ②影響がある（複数回答可）
  - 生活費を節約する
  - 書籍代等を節約する
  - 交通費のかかる勉強会等への参加を控える
  - 遠方での就職活動に支障が生じる
  - その他

その他影響があるもの：



※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

問32 あなたの世帯では、あなたが主たる生計維持者ですか。（ここで言う「主たる生計維持者」とは、あなたが受けた貸与金やあなたの貯蓄などを原資とする金銭によって、世帯の支出の半分以上を賄っている方とします。）

- ①はい ②いいえ

問33 あなたが扶養すべき親族はいますか。

- ①はい ②いいえ

問34 あなたは最高裁からの貸与を受けていますか。受けている方はその金額を、受けていない方はその理由をお答えください。

①貸与を受けている

A：基本額（月額23万円）

B：基本額未満の額（月額18万円）

C：扶養親族がある場合（扶養加算）（月額25万5000円）

D：住居賃借の場合（住宅加算）（月額25万5000円）

②貸与を受けていない

理由：（複数選択可）

A：返済に不安があるため B：親族等からの援助があり、貸与を受ける必要がないため

C：貯蓄などで賄えるため D：連帯保証人となる人がいないため

D：その他（ ）

問35 現在の配属先における実務修習期間中の標準的な1か月間のあなた自身の支出の状況について、下記の表に記入してください。0円の項目については、「0」と記載してください。

費目	記載例	金額/月
(1) 住居費（家賃など）	50,000	
(2) 水道光熱費	12,000	
(3) 食費	30,000	
(4) 交通費（就職活動にかかったものを除く）	5,000	
(5) 就職活動費（交通費、宿泊代など）	20,000	
(6) 学習費（書籍代、勉強会参加費など）	10,000	
(7) 奨学金の返済	20,000	
(8) 情報通信費（電話・インターネット料金、新聞代、NHK受信料など）	12,000	
(9) 年金・各種保険料（国民健康保険料、生命保険料など）	20,000	
(10) 諸雑費（医療費、日用品費、衣服費など）	11,000	
(11) 交際費（懇親会費、冠婚葬祭費など）	30,000	
(12)		
①その他1（ ） *住民税、住宅ローン等具体的に記載して下さい。	0	
②その他2（ ）	0	
③その他3（ ）	0	
合計	220,000	

（参考）平成27年度国民年金保険料 月額15,590円

※回答したアンケート用紙は実務修習地の弁護士会に提出してください。

**第6 その他**

問36 その他、司法修習や給費制・貸与制等に関する御意見がございましたらお書きください。(自由記載)

設問は以上で終わりです。御協力ありがとうございました。